

TP-Link AC600(Archer T2U v3) をLinuxで使えるようにする

<https://www.tp-link.com/jp/home-networking/adapter/archer-t2u/> [<https://www.tp-link.com/jp/home-networking/adapter/archer-t2u/>]

tplinkのAC600はRealTekの8812auチップを使っていると思われる。[[Debianにも rtl8812au-dkms というパッケージがあるが、これは動かなかった \(Mint21/22どころかもだめ\)](#)]。代わりに、<https://github.com/aircrack-ng/rtl8812au> [<https://github.com/aircrack-ng/rtl8812au>] をいれるとうまく動いた。

```
$ sudo apt-get install dkms build-essential git
```

```
$ cd /usr/src
$ sudo git clone https://github.com/aircrack-ng/rtl8812au
$ cd rtl8812au
$ sudo make dkms_install
```

(/lib/modules/`uname -r`/updates/dkms/88XXau.ko というモジュールが配置される)

(また、/usr/src/8812au-5.6.4.2_35491.20191025 のようなフォルダが作られてモジュールソースなどもコピーされるようである)

セキュアブート環境でない場合は、ここでドングルを指し直せば使えるようになる

セキュアブート環境では「[セキュアブート\(SecureBoot\)が有効な環境で、自前ビルドモジュールが動くようにするには](#)」も参照すること

アンインストールは次の通り

```
$ cd /usr/src/rtl8812au
$ sudo make dkms_remove
$ sudo make uninstall
```

Mint22/Ubuntu24.04などのKernel-6.8系では動かない？ (OSが不安定になる) 2024,7/12

ドングルを一回指すとLEDが点灯して通信可能になるが、実はその時点でdmesgにヤバそうなメッセージが出力されていることが判明

```
[ 285.840422] ---[ end trace 0000000000000000 ]---
[ 285.840426] BUG: kernel NULL pointer dereference, address: 0000000000000000
[ 285.840429] #PF: supervisor write access in kernel mode
[ 285.840432] #PF: error_code(0x0002) - not-present page
[ 285.840444] PGD 0 P4D 0
[ 285.840448] Oops: 0002 [#2] PREEMPT SMP NOPTI
```

さらにドングルを一回抜いて、もう一度指し直すと dmesgが無反応になる。この状態では他にUSBデバイスを接続しても反応しないなど、システムが不安定状態に陥る。

カーネル6.8系(Ubuntu24.04)で同じ症状の人がいてバグレポート済みになっていた 2024,7/12

<https://github.com/aircrack-ng/rtl8812au/issues/1159> [<https://github.com/aircrack-ng/rtl8812au/issues/1159>]

で、以下のようにチェックアウトするバージョンを指定すれば問題は起きなくなった。

```
$ cd /usr/src/rtl8812au
$ sudo make dkms_remove
$ sudo make uninstall
$ sudo git checkout 63cf0b4
$ sudo dkms_install
```